

2026年度 北見藤高等学校シラバス

【教科】 【科目】	【国語】【古典探究】	3年	2 単位	教科書	高等学校 古典探究 数研出版	副教材等	体系古典文法	履修対象・ 使用教室 等	3年4組／HR	
教科・ 科目 の 目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。 （１） 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 （２） 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする （３） 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。									
評価 の 観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。			論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
評価 方法	＊単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 ＊単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総合的な評価を行ったものを「５段階の評定」とする。									
評価 資料 ・ 評価 比重 (100点換算)	評価資料等		予定回数・内容等				知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	単元テスト		14回				100		100	0
	課題提出		適宜				0		0	50
	授業態度		毎時間				0		0	50
	〔観点別配分%〕		（３観点の比重を%で示しています）							
月進行 【計画】	【単元名】 学習項目名		配当 時間 【計画】	学習内容・目標（到達点） など			主な評価資料		評価の重み付け〔●○〕 知・技 思・判・表 態度	
4 5	物語/光源氏誕生（源氏物語）		14	・帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに対し、まわりの人々はほう思ったか、説明する。 ・「一の皇子」と「玉の男皇子」とに対する帝の接し方の違いを説明する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。			単元テスト	●	○	
							ノート・レポート提出		○	●
							授業態度			●
6 7	随筆(二)/ゆく河の流れ（方丈記） 随筆(二)/閑居の気味（方丈記）		14	・「世の中にある人と橋と、またかくのごとし」について、「人と橋」が何とどのように同じなのか、説明する。 ・「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 ・作者の家の様子や周囲の環境と、そこにおける生活の様子をまとめる。 ・作者はなぜこの作品を『方丈記』と名付けたのか、考える。			単元テスト	●	○	
							ノート・レポート提出		○	●
							授業態度			●
8 9	随筆(二)/あだし野の露（徒然草） 随筆(二)/花は盛りに（徒然草）		12	・「長くとも、四十に足らぬほどにて死なんこそ、めやすかるべけれ」と作者が言う根拠について、整理する。 ・この文章の主題を表している一文を抜き出す。 ・命が永遠ならば「いかにもものあはれもなからん」という作者の考え方に賛成の意見・反対の意見を出し合い、話し合う。 ・本文で述べられている「月の見所」「花の見所」をまとめる。 ・「男女の情け」における「始め終はり」とは、どのような状態を言うのか説明する。			単元テスト	●	○	
							ノート・レポート提出		○	●
							授業態度			●
10 11	歴史物語/花山天皇の出家（大鏡） 歴史物語/三船の才（大鏡）		16	・「さりとて」「さきども」「さること」の「さり」「さる」が指す内容を説明する。 ・花山天皇の出家はどのように行われたのか、道兼の行動に注意しながらまとめる。 ・花山天皇と道兼の人物像をまとめる。 ・本文を「出来事」「事後の公任の感想」「語り手の感想」の部分に分ける。 ・「かばかりの詩……まさりなまし」という言葉が発せられた理由について説明する。 ・「小倉山……」の和歌はどのような点が評価されたのか、考える。			単元テスト	●	○	
							ノート・レポート提出		○	●
							授業態度			●
12 1	軍記物語/忠度の都落ち（平家物語）		14	・恋人の死を受けとめかねて苦しむ作者の様子がどのように表現されているか、抜き出す。 ・「なべて世の……」「悲しとも……」の歌に込められている作者の気持ちらを説明する。 ・『建礼門院右京大夫集』と『平家物語』で描かれる平貞盛の人物像や逸話について調べる。			単元テスト	●	○	
							ノート・レポート提出		○	●
							授業態度			●

学習の アドバイス	基本文法を徹底して覚えてしまいましょう。そこから古文読解が始まります。
--------------	-------------------------------------